

中部産業遺産研究会 会報 第45号

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage

・第20回 総会について

日 時：2012年5月27日(日)、午後1時より
場 所：名古屋工業大学 11号館 2階 1121 (T1) 教室
内 容：会長挨拶

議長選出

- 1 . 2011年度(平成23年度)事業報告
- 2 . 2011年度(平成23年度)会計報告
研究会会計
書籍会計
- 3 . 2011年度(平成23年度)監査報告
研究会会計
書籍会計
- 4 . 2012年度～2013年度役員と組織(案)
- 5 . 2012年度(平成24年度)事業計画(案)
- 6 . 2012年度(平成24年度)予算(案)
- 7 . その他

記念講演：「名古屋放送局(ラジオ)のあゆみ」永田 宏

・第116回 定例研究会について

日 時：2012年5月27日(日)、上記の第20回総会に引き続いて行う
場 所：名古屋工業大学 11号館 2階 1121 (T1) 教室(総会会場と同じ)

- 1 . 研究報告、調査報告
「産業遺産の見方・調べ方 電気機器について」市野清志
- 2 . その他の諸報告、保存問題など
- 3 . 研究誌、会報(研究会ニュースレター)
- 4 . シンポジウム
- 5 . その他

・第115回 定例研究会・見学会の報告

日 時：平成24年3月25日(日)、午後1時～5時
見学先：一宮市起地区の鋸屋根工場群、一宮市尾西歴史民俗資料館
案内人：岩井 章真、野口 英一郎

報告者：岩井 章真

参加者：鋸屋根工場群 24名、歴史民俗資料館 26名

鋸屋根工場群は周辺道路が狭隘なため、2組に分れて見学した。

一宮市起地区の鋸屋根工場群

木曽川に面した起地区は、川湊を抱えた脇街道美濃路の宿村であり、旧堤防上の街道を中心に展開する町並は、地形や地割とともにその歴史を伝えてきた。毛織物の主産地となった大正期以降は、織布を中心に大小の鋸屋根工場が林立し、下見板にペンキを塗った洋風の事務所や寄宿舍などが建てられたこともあって、起地区は特有の産業景観を呈した。しかし、昨今の繊維産業の斜陽化や住環境の変化といった時流は、町に絶え間ない開発を招き、歴史的な町並を核とする起の産業景観を消し去ろうとしている。現時点ではかろうじて歴史的風致を感じ取ることができるが、このままではそれも遠からず失われる。

見学会では文化財保護法上の指定や登録がされたことで僅かに遺った渡船場跡や買継問屋の町屋など宿村由来の遺構を織り交ぜながら、町並に散在する大小の鋸屋根工場群や関連建物を公道より見学し、広範に広がる起の産業遺産群のスケール感を感じていただいた。

(見学先の詳細は見学会資料を参考にされたい。)

(主な見学先)

- ・起織物株式会社工場などの大小の鋸屋根工場群
- ・旧湊屋文右衛門邸(明治前期竣工。国登録有形文化財)
- ・常渡船場跡(常夜灯のみ現存。愛知県史跡。)
- ・木曽川堤防・起第一陸閘および濃尾大橋(昭和31年竣工)
- ・起保育園と林曜三胸像
- ・宮河戸跡と起の大いちょう(愛知県史跡・愛知県天然記念物)
- ・旧名鉄起線起停留所跡
- ・旧舛善毛織工場(初期の鋸屋根工場。大正6年頃竣工)
- ・西五城の住工一体的な小規模の鋸屋根工場群

一宮市尾西歴史民俗資料館

今回の見学会は、街道に面しかつての宿村の中心に位置する一宮市尾西歴史民俗資料館で企画された特別展「のこぎり屋根工場と毛織物」の開催に併せて企画したものである。産業遺産を主要テーマに据えた展覧会は珍しいが、開催には中部産遺研の複数のメンバーが協力している。会場では、古写真や建築図面、絵画資料、工場で使われていた平ベルトなどの一次資料が多数のパネルとともに展示され、鋸屋根工場の歴史や姿を伝えていた。特別展は神田年浩学芸員の解説で観覧し、常設展示場と館敷地に建つ「旧林家住宅(大正期竣工。国登録有形文化財)は宮川充史学芸員の解説で観覧・見学した。お二人にはこの場を借りて篤く御礼を申し上げたい。

6. 文献紹介、資料紹介()内は紹介者

【参考資料】

[115-62-01]「インタビュー 豊田自動車における基盤確立期の技術」
愛知大学中部地方産業研究所発行・寄贈 (天野武弘)

【その他の資料】

[115-63-01]「G I H会報 No.84」岐阜産業遺産調査研究会 (事務局)

[115-63-02]「ニュースレター vol.91」名古屋都市センター (事務局)

[115-63-03]「シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回資料」大橋公雄寄贈 (事務局)

[115-63-04]「シンポジウム「日本の技術史をみる眼」DVD」第29回 disc1・disc2、
第30回 disc1・disc2 日本の技術史をみる眼実行委員会寄贈 (事務局)

[115-63-05]・「パネル展勉強会 データ」2006年度、2007年度、2008年度、2009年度、
2010年度、2011年度 寺沢安正寄贈 (事務局)

7. 出版広報事業

[115-71-01] インターネット <http://csih.sakura.ne.jp/>

[115-71-02] 中部産業遺産研究会の本

8 . 委員会、役員会、研究分科会

[115-81-01] 幹事会・役員会

・第7回 幹事会 2012/04/29(日) 10:00～13:00 名古屋事務所

・第1回 役員会 2012/04/29(日) 13:30～17:00 名古屋事務所

[115-81-02] シンポジウム「日本の技術史を見る眼」第30回記念 実行委員会

・第7回 2012/03/25(日) 10:00～12:00 名城大学名駅サテライトディスカッションルーム1

[115-81-03] 第6回「2012年度 パネル展・名古屋のまちづくりを発展させた鉄道網」(仮) 勉強会

・第2回 2012/04/15(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F

[115-81-04] 研究誌『産業遺産研究』第19号 編集委員会

・必要に応じて電子メールや電話にて開催

[115-81-05] TICCIH 台湾 2012 準備委員会・勉強会

9 . 総務・事務局関係

[115-91-01] 研究会スケジュール、関連団体スケジュール

- ・産業考古学会総会・研究発表 2012/05/19(土) 日本大学駿河台キャンパス
- 見学会 2012/05/20(日) 「町工場と海苔の大田区」
- ・第20回総会・第116回定例研究会 2012/05/27(日) 13:00～ 名古屋工業大学
- ・第117回例会 2012/07/22(日) 13:00～ 会場未定
- ・第118回例会・見学会 2012/09/23(日) 13:00～ 見学先未定
- ・産業考古学会全国大会 2012/10/06(土)～07(日) 愛媛県新居浜市
- ・TICCIH 台湾 2012・本会議 2012/11/04(日)～08(木) 台湾
- ・TICCIH 台湾 2012・ポストツアー 2012/11/09(金)～11(日) 台湾
- ・第119回例会 2012/11/25(日) 13:00～ 会場未定
- ・第6回「2012年度 パネル展」 2013/01/22(火)～02/03(日) 予定 名古屋都市センター
- ・第120回例会公開・パネル展講演会 2013/01/27(日) 13:00～ 予定 名古屋都市センター
- ・第121回例会 2013/03/24(日) 13:00～ 会場未定
- ・第21回総会・第122回例会 2013/05/26(日) 13:00～ 会場未定

[115-91-02] 会員異動 () 内は入会日・退会日

・入会：馬場慎一(2012/04/01)

・退会：尾崎正枝(2011/12/15 逝去)、森島 芳(2012/04/02)、伊藤勝二(2012/04/11)

・名古屋事務所と在庫書籍について

名古屋事務所について

田中浩太郎顧問のご好意で利用させて頂いている上前津の名古屋事務所は、本年内に整理する事になった。これに伴い在庫の資料や書籍などを移動することになった。パネル展の関係するものは、整理して一旦寺沢安正会員が預かる。保存図書は事務局に移すことにする。

名古屋事務所にある書籍などの移動や処分は、今年9月末までを目処に完了し、最終確認を幹事会で行い例会にて報告する。

在庫書籍について

2012/04/29(日)に名古屋事務所にて行われた幹事会ならびに役員会で、在庫書籍について話し合い、下記の内容で総会に提案することになった。

名古屋事務所の閉鎖に伴い在庫として大量にある書籍は大半を処分し、次の書籍だけ残すことにする。「ものづくり再発見」、「同英語版」、「産業遺産研究」の全号揃い、「産業遺産研究」第17号・第18号・第19号、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」講演報告資料集第28回・第29回・第30回

とする。『産業遺産研究』とシンポジウム「日本の技術史をみる眼」講演報告資料集は、今後3年間だけ販売し、発行から4年目になった書籍は処分して書籍幹事の負担を軽減する。

在庫として大量にある書籍は、次の方針で進める。

基本方針 価値を知る会員・非会員になるべく高く買い取ってもらう。

残ったものは、会員に廉価販売する。

他団体への寄付、古本屋販売、廃棄処分は会員販売後とする。

販売は会員・非会員を問わず、先に注文された方を優先とする。

書籍処理に係わる手間暇、費用経費最小をもとに料金の改訂を行う。

銀行口座廃止し郵便局に一本化し、書籍幹事との連絡はE-mailのみとし、FAXを無くす。

定価販売の該当か否かの判断は書籍幹事に一任する。

書籍は廃棄処分、またはそれに近いものになるので当会の資産が大幅に減る。

- 日 程
1. 現行の書籍販売表の有効期限は2012/05/31までとする。
 2. 2012/06/01～06/30の間は書籍価格の特別割引1段目とする。
2012/06/09日(土) 13:30～15:00 名古屋事務所での直接頒布を行う。
安売り価格「ものづくり再発見」会員 1,000円/冊・非会員そのまま 2,000円
現行、割引書籍 会員 200円/冊の書籍 100円/冊
非会員そのまま 500円
ただし、送本を希望の方、会員・非会員とも下記の送料とする。
1冊目 550円、2冊目以降は 450円/冊を加算する。
 3. 2012/07/01～ は書籍価格の特別割引2段目とする。
2012/07/07(土) 13:30～15:00 名古屋事務所での直接頒布を行う。
安売り価格「ものづくり再発見」会員 100円/冊・非会員そのまま 2,000円
現行、割引書籍 会員 200円/冊の書籍 10円/冊
非会員そのまま 500円
ただし、送本を希望の方、会員・非会員とも下記の送料とする。
1冊目 550円、2冊目以降は 450円/冊を加算する。
 4. 2012/08/01～ 寄付、古本屋、廃棄処分を開始する。

会員が預かっている書籍

2回の直接頒布の時に名古屋事務所へ持参するか、事務局が処分を確認できるようにする。
名古屋事務所への持参や処分確認がされない書籍は、預かっている会員が定価を基本として買い取る。

在庫書籍についての分担は、頒布ならびに他団体への寄付・古本屋販売を書籍幹事が担当し、会員が預かっている書籍と最後に残った書籍の廃棄処分を事務局が担当する。

この件についてのご意見などは、担当の藤田秀紀幹事または事務局の野口英一朗までお願いします。

・お知らせ

会計幹事より年会費納入について

2012年度の年会費の納入をお待ちしています。例会時に現金支払いも出来ませんが、担当者が欠席する場合がありますので、手数料が発生しますが下記の郵便振替や銀行口座をご利用ください。

個人の年会費は4,000円です。

〔郵便振替〕 口座番号：00840-1-174258 口座名：中部産業遺産研究会

〔銀行口座〕 三菱東京UFJ銀行 鳴海支店 普通預金 口座番号：1531266

口座名：中部産業遺産研究会 会計 市野清志

また、2011年度の未納の方も数名おられ、2年間未納の場合は退会となります。

問い合わせは、市野会計幹事までお願いします。

研究誌『産業遺産研究』第20号の編集委員会より
論文・調査報告や研究ノートなど原稿を募集しています。原稿の締め切りは来年3月末です。

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第31回の実行委員会の開催

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」の実行委員会を、2012/05/27(日)の10:00~12:00に行う予定です。会員であれば参加できますので、10時前に名古屋工業大学正門に集合し、一緒に会場に向かいます。この実行委員会に出席したい方やご意見などは、担当の山田貢シンポジウム事務局または事務局の野口英一朗までお知らせください。

「2012年度 パネル展・名古屋のまちづくりを発展させた鉄道網」(仮称)の勉強会の開催

今回のパネル展、武豊線・東海道線・中央線・名鉄・近鉄・名古屋市電・地下鉄・名古屋駅をはじめとした主要駅などについて、詳しい内容はこれからの勉強会などで、話し合い詰めていきます。パネル展の開催は来年の2013/01/22(火)~02/03(日)までで、公開の定例研究会を2013/01/27(日)に開催する予定です。

勉強会は偶数月の日曜日の14:00~16:30に名古屋都市センター13Fにて行う予定です。参考となる文献は、新修名古屋市史5巻第四節、交通・運輸業の発展(P526~P550)、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回鉄道遺産の現状と保存問題および第18回東海地方を駆け抜けた高速電車・高性能電車、「中部の電力のあゆみ」第6回中部の電気鉄道100年があります。

勉強会の参加者で取り組んでも良いテーマを出し合い進めて行きます。関心のある方なら誰でも参加出来ますので、ご出席ください。資料がある方は15部用意してください。この勉強会に出席したい方やご意見などは、担当の大橋公雄幹事または事務局の野口英一朗までお知らせください。

「ものづくり文化再発見!ウォーキング大会」の開催

今年度は秋に2回開催する予定で主催者側は進めています。開催されれば今まで通りに協力をする予定です。開催日やコースなど内容が発表されましたらお知らせします。

会報編集委員会より

編集委員の募集および、ご意見やご希望などお願いします。

産業遺産に関する情報・短信・文献紹介などお気軽にご投稿下さい。投稿は郵送または電子メールでお送り下さい。写真には必ず撮影者と撮影日時を記載したメモを貼り付けて下さい。原稿はテキスト形式で作成していただくようお願いいたします。

原稿送付先: 野口英一朗 noguchi.d5@dion.ne.jp (アドレスにご注意下さい。@の前にドット。)

電子メールをお持ちの会員で、橋本幹事から電子メールニュースが配信されていない会員は、メールにて、橋本幹事 (hidekih@wine.plala.or.jp) までご連絡ください。すでに着信確認メールを出されている方は、再度送信いただく必要はありません。

中部産業遺産研究会会報 第45号

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage Vol.45 2012-5

発行: 中部産業遺産研究会

発行人: 佐々木享

発行日: 2012年5月1日

編集委員: 野口英一朗・伴公太・中住健二郎・橋本英樹

事務局: 〒453-0014 名古屋市中村区則武2-34-12 シェルコ-ト則武502 野口英一朗気付
中部産業遺産研究会のホームページは、<http://csih.sakura.ne.jp/>です。

掲載記事の無断転載を禁じます。

Copyright 2008 The Chubu Society For The Industrial Heritage, All rights reserved.



交通アクセス

名古屋工業大学への交通アクセス

名古屋駅からおよそ15分。緑豊かな鶴舞公園のそばに立地。
名古屋工業大学は交通アクセスが良いだけでなく、豊かな自然に囲まれています。

JR東海	中央本線 鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線 鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線 吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	栄18 名大病院下車(東へ約200m)
	昭和通線 名大病院下車(東へ約200m)

※「栄18」「昭和通線」は市バスの系統名です。



所在地



キャンパスマップ



〒466-8555 名古屋市長和区御器所町
Copyright © 2009 Nagoya Institute of Technology. All rights reserved.